

10月の主な行事予定

月	日	曜	内 容	放課後 遊び
10月	1日	(日)	村民運動会	
	2日	(月)	全校朝会(防災) 避難訓練 委員会活動 図書ボランティア	○
	3日	(火)	体育朝会 安全指導・点検 運動会全校練習③ 運動会係活動(6校時)② 水曜時程	○
	4日	(水)	水曜時程5時間授業	○
	5日	(木)	鼓隊練習(5~6校時) たてわり班活動なし 全校練習予備日	○
	6日	(金)	運動会前日準備(4~6年生 6校時~放課後) 水曜時程	×
	7日	(土)	運動会	×
	8日	(日)	(運動会予備日)	
	9日	(月)	体育の日	
	10日	(火)	振替休業日	
	11日	(水)	全校朝会 5時間授業 水曜時程 図書ボランティア	○
	12日	(木)	1年生研究授業(5時間授業) 2~6年生4時間授業給食あり PTA 運営委員会	×
	13日	(金)	日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成授業(JET)	○
	14日	(土)		
	15日	(日)		
	16日	(月)	全校朝会 クラブ活動 図書ボランティア 一貫公開週間	○
	17日	(火)	放課後鼓隊	○
	18日	(水)	6時間授業 水曜時程	○
	19日	(木)	放課後鼓隊	○
	20日	(金)		○
	21日	(土)	村の防災訓練	
	22日	(日)		
	23日	(月)	全校朝会 クラブ活動 図書ボランティア	○
	24日	(火)	鼓隊練習(6校時)	○
	25日	(水)	6年生研究授業(5時間授業) 1~5年生4時間授業給食あり	×
	26日	(木)	放課後鼓隊	○
	27日	(金)	委員会活動	○
	28日	(土)	漢字検定9:00~ 新島地区 PTA 連合協議会合同研修会 PM	
	29日	(日)		
	30日	(月)	全校朝会 学芸会会場設営(5、6年生 6校時/1~4年生 5時間授業)水曜時程 図書ボランティア	○
	31日	(火)	放課後鼓隊、福祉体験(13:00~15:00/4年生:体育館)	○

【スクールカウンセラー来校予定日】3日(火) 11日(水) 19日(木) 24日(火)

- 【生活指導目標】 協力して仕事をしよう
- 【安全指導目標】 災害から身を守ろう
- 【保健指導目標】 目を大切にしよう
- 【給食指導目標】 食事のマナーを守ろう



学びの庭

NO. 114 10月号
平成29年9月29日
新島村立新島小学校
学校だより

体験したことは身に付く

副校長 鈴木 正樹

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことは分かる」とよく言われます。この出典は「荀子」儒教篇の「不聞不若聞之、聞之不若見之、見之不若知之、知之不若行之」(聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは、見ることに及ばない。また見るとは、理解することに及ばない。しかし理解することは、それを実践することに及ばない。したがって学問は実践の段階にまで至って終わるのである)だそうです(「中国名言名句辞典」小学館)。体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。

体験には様々なものがあります。原体験、自然体験、社会体験、奉仕活動体験等に分けることもあります。学校生活の毎日も新たな体験活動があります。学習体験もその一つです。休み時間に友達と遊ぶこと、給食の準備をして仲良く食べること、掃除の時間に教室や学校の中をきれいにすること。まさに毎日が体験活動で

あり、その中で子供たちは人として必要なことを学んで成長しています。学んだことを知識としてたくわえることが目的ではありません。今求められている力は、学んだことを基に、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では試行錯誤を繰り返して、失敗することもありますが、逆に失敗の数だけまた成長していくかもしれません。体験したことを身に付けるために三つの大切なことがあります。一つ目は、その体験のめあてをしつかりもつことです。ただ何となくやってみた、こんなことをやらされた、では何も身に付きません。二つ目は、体の全感覚を使って、「なぜだろう、どうしてだろう」と問いかけをもって考えることが大切です。自分なりの考えをもち体験することにより深く自分の力となります。三つ目は、様々な体験の中での人との関わりを大切にすることです。一人ではできないことも力を合わせればできることがたくさんあります。力を合わせてできたことは何よりの宝となります。

十月は運動会、十一月は学芸会と大きな学校行事が続きます。これらの体験の機会は子供たちが大きく成長するための貴重な時間です。子供たちの成長に向けて学校全体で指導・支援を充実させていきます。御理解と御協力をお願いいたします。

学級の取り組み

自分自身のなりたい「新島っ子」に・・・

三年担任 大島 裕史

三年生では社会科や理科、総合的な学習の時間が新たな科目として始まりました。特に、『新島』について学んだり、調べたりすることがたくさんあります。そのため、「われら、新島っ子！」をテーマに、この半年間子供たちと一緒に生活をしています。

四月始まったばかりの頃。私が「どんな新島っ子になっていきたい？」と聞くと、子供たちからたくさん意見が出ました。その中でも、「チャレンジしていきたい!」「思いやりがある子になりたい!」「協力することが大事!」という意見に、誰もがうなずき、「そこから『われら新島っ子』チャレンジ・思いやり・きょうりょ」という学級目標が生まれました。

この年度初めに決まった学級目標を意識しながら、子供たちは日々頑張っています。初めてのことでとにかくチャレンジしてみたり、友達と声を掛け合って協力したり、相手に優しい言葉（ふわふわ言葉）をかけてあげたりする姿も増えてきました。学習では、新島を教材として学習してきました。国語の報告書で新島のものについて紹介したり、社会科で新島の地域や特産品について調べたり、理科で新島の植物を見付けたり、総合的な学習の時間に郷土料理や特産物を作ったりと様々な学習に取り組んでいます。新島について理解を深める中で、「新島が大好き!」「いろいろな人もっと新島を知ってほしいから、紹介したい!」と、新島を愛する気持ちも徐々に高まってきています。

元気がよく、笑顔の多いとてもステキな三年生の子供たち。「これからどんな新島っ子になりたいか」：それは、子供たちそれぞれが心の中に思い描いていると思います。そんな「理想の新島っ子」に近づけるように、私も担任として子供たちを支えていきたいと思っています。「運動会」「学芸会」「子ども学芸員」など、三年生の子供たちが輝く機会はたくさんあります。ぜひ、子供たちの活躍を期待していただきます。今後とも応援よろしくお願ひします。

心を一つに

四年担任 齋藤 真紀子

保育園の時から共に同じ時間を過ごしてきた四年生は、互いの成長を感じながらも、お互いに補い合ったり、応援し合ったりして、担任の私では計り知れないほどの強い絆で結ばれています。その様子は日常の至るところで見られます。

誰かが何かにつまずいてしまったら、「大丈夫。次できるよ。」と励まし、困っていたら「大丈夫?」と優しく尋ねる声が聞こえます。一生懸命取り組んで成功したら「やったー!」と自分のことのように友達の前を喜びます。この清々しい光景を目の当たりにすると、子供たちの成長に無限の可能性を感じずにはいられません。

そのため、今年度の運動会における演目「一輪車」では、団体で取り組む技を多く取り入れて演技の構成を考えました。子供たちは、「運動会で保護者や地域の皆様にどう思ってもらいたいか?」を考えると、そこから始め、そのために「どんな技を披露するか」を話し合いました。そして、そこに成功させたいと思う技を加えていき、工夫を凝らしました。練習中も子供たちは、互いに率先してアドバイスや励ましの言葉を伝え合い、どうすれば技を成功させられるかを模索し続けました。真剣な眼差しで最後まであきらめない姿から、「四年生として」を通り越して、「人間として」の美しさを感じました。運動会では、子供たちの頑張りを一人でも多くの方々に見ていただければと思っています。どうぞ、御覧ください。

そのような四年生は、今年度、二分の一人成人式を迎えます。四月当初、「どんな大人になりたい?」と聞いたところ、ほとんどの子供たちが頭を悩ませました。しばらくしてから出てきた言葉は「優しい大人になりました。」でした。それから約半年たち、再び同じ問いをしたところ、子供たち一人一人が思い描く「優しさ」が、今までよりも具体的な言葉で上がってくるようになりました。「十歳」という節目の歳は、通過点でしかないかもしれませんが、自分に向き合う一年として大切に過ごしていけるよう、見守っていきたいと思っています。今後とも、子供たちへの温かい応援を、どうぞよろしくお願ひします。

地域との交流を大切に

あしたば学級担任

波田地昭子
久保 大介

あしたば学級は、六月から新たに一年生を迎えて、四名になりました。三人の六年生は、新しい仲間の一年生を気遣い、学級でのルールを優しく教えてあげるなど、今まではなかった姿が見られるようになりました。一年生も六年生の動きを見て自分も一緒に活動し、段々と学校生活に慣れていくことができました。学級の絆が一段と強まったきっかけとなったのが、大島宿泊学習でした。二泊三日家族のもとを離れ、様々な体験学習を通して経験を広げ、食事やお風呂、レクリエーションなど寝食を共にし、互いに助け合ったり励まし合ったりする中、コミュニケーションのとり方や関わり方を自然と学んでいき、気持ちを通じ合っていく様子が見られました。学校に戻ってからも声を掛け合って、掃除を頑張る姿がありました。

今、力を入れている学習は「感謝の気持ちを伝えよう」というものです。いつも身近で見守り支えてくれる家族や地域の方々への感謝の気持ちをもち、その気持ちを伝えることができるようになることがねらいです。お世話になっている方々をあしたば教室に招いて「おもてなし」を行っていくことを子供たちと計画中です。「何をしたら喜んでもらえるかな。どうしたらありがたそうの気持ちが出るかな。」と話し合っています。思わぬアイデアや意見が飛び出してくることもあり、心が育っていることを感じます。これからも地域の方々と交流を大切に、感謝の心や郷土を愛する心情を育みたいと考えています。六年生は、いよいよ来年四月からは中学生です。今後とも変わらぬ御支援と御協力をよろしくお願ひいたします。



特別活動の取り組み

特別活動主任 波田地昭子

新小の特別活動の三本柱は、委員会・クラブ・たて割り班の活動です。今回はクラブ活動（四年生く六年生）について、それぞれのクラブ長に聞きました。

聞いたことは、①現在までの主な活動内容 ②クラブを通して嬉しかったことや楽しかったことです。

図工クラブ クラブ長 藤澤 ゆめさん

① スクラッチ、プラ板、ビーズジェットコースター、船

② みんなが自由な発想で材料を選びながら作品づくりに取り組んでいて、とても楽しいです。

パソコンクラブ クラブ長 佐久間 洸さん

① プログラミング（ゲームやアニメーション）

② 完成に向けて少しずつ自分の手で作り上げていくというところに喜びを感じています。

スポーツクラブ クラブ長 榎野 隼人さん

① バレーボール、バドミントン、キックベース、水泳

② みんなの気持ちがひとつになって、いろいろなスポーツに夢中になって取り組めた時、嬉しいなと思います。

家庭科クラブ クラブ長 北村 珠沙さん

① トーストアレンジ、お弁当作り

② みんなで計画を立てたり、協力して楽しく一つのものを作ったりすることができたとき、とても嬉しいですよ。

どこのクラブも、子供たちで話し合って活動内容を決めて、主体的に活動しています。引き続き六年生を中心に、異学年で協力しながら楽しく活動して欲しいと思います。